

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	R.T	学部・学科	国際商学部・国際商学科
学年	4年	派遣国	カナダ
派遣大学	ニューファンドランドメモリアル大学		
期間	2021年 9月 8日～ 2022年 4月 23日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (48,675) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (0) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	65250円	食事プラン(\$2,610)(冬学期)÷4ヶ月
学用品購入費	3750円	一学期の教科書代約15,000÷4ヶ月
交通費	0円	交通費は交際の用途に限られる
交際費	10000円	友人宅への交通費、飲食代、衣類等
その他	0円	
合計	79000円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

治安はカナダの中でも比較的良く、一人で街を歩ける程度です。田舎の立地ということもあり、基本的に犯罪は起こりにくいです。しかし、夜のDowntownは昼間に比べると治安が悪く、貴重品の管理には注意を払う必要があります。しかし、カナダの他の主要都市と比較して全体的な治安は良いです。

3. 医療について

(1) 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(9) ヶ月間	保険料	(111,987) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	Foreign Health Insurance		
加入期間	(9) ヶ月間	保険料	約 (52,318) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (St. John's)
St. John's はかな街で、田舎ではあるものの他のカナダの主要都市とは違った特有の歴史や文化が存在しています。街には壮大な自然と穏やかな雰囲気が混在しており、落ち着いた環境で勉学に励むことができます。また、地元の人々も温かい人が多く、現地の人々との交流を楽しむこともできます。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ニューファンドランドメモリアル大学	所在地	St. John's, Newfoundland
最寄空港	St. John's International Airport (YYT)	空港からの距離	14km
空港⇄大学	(バス もしくは タクシー) *移動手段		
学生数	19,429 人 (2020 年)	留学生数	3400 人以上
学部	Faculty of Business Administration Faculty of Education Faculty of Engineering and Applied Science Faculty of Humanities and Social Sciences Faculty of Medicine Faculty of Science Marine Institute School of Arctic and Subarctic Studies School of Graduate Studies School of Human Kinetics and Recreation School of Music School of Pharmacy School of Social Work Grenfell Campus *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Faculty of Humanities and Social Sciences *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		10:30~11:45 授業 (スペイン語)		10:30~11:45 授業 (スペイン語)	洗濯
午後	12:30~13:45 授業(経済学)	15:30~16:20 スペイン語 会話練習セッ ション	12:30~13:45 授業(経済学)	12:00~12:50 スペイン語 会話練習セッ ション	

② (1)月～(4)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	10:30~11:45 授業 (経済学)	9:00~10:15 授業(経営学) 10:30~11:45 授業 (スペイン語)	10:30~11:45 授業 (経済学)	9:00~10:15 授業(経営学) 10:30~11:45 授業 (スペイン語)	洗濯
午後					13:00~13:50 スペイン語 会話練習セッ ション

3. 履修内容

科目（和訳）	マーケティング戦略入門		
履修期間	秋学期（9月～12月）	単位数	3
授業内容／形態	マーケティングについての基礎知識についての授業/オンライン		
YCU 振替予定	科目	マーケティング論 もしくは 特講（国際商学部留学科目）	
	単位数	2	
	担当教員	柴田先生（前者の場合）	

科目（和訳）	医療制度の経済分析		
履修期間	秋学期（9月～12月）	単位数	3
授業内容／形態	医療制度の決定における経済学が果たす役割についての授業/原則対面		
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目）	
	単位数	2	
	担当教員	×	

科目（和訳）	ビジネスと文化1		
履修期間	秋学期（9月～12月）	単位数	3
授業内容／形態	スペイン、または南米といったスペイン語圏のビジネスと文化について、スペイン語で行われる授業/対面		
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目）	
	単位数	2	
	担当教員	×	

科目（和訳）	組織行動論		
履修期間	冬学期（1月～4月）	単位数	3
授業内容／形態	組織内での個人の行動、個人間の関係が組織全体に与える影響についての授業/原則対面		
YCU 振替予定	科目	組織行動論	
	単位数	2	
	担当教員	吉永先生	

科目（和訳）	応用厚生経済学と費用便益分析		
履修期間	冬学期（1月～4月）	単位数	3
授業内容／形態	厚生経済学を基に、費用便益分析が社会の意思決定に与える影響をさまざまな事例を通して理解していく授業/原則対面		
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目）	
	単位数	2	
	担当教員	×	

科目（和訳）	ビジネスと文化2		
履修期間	冬学期（1月～4月）	単位数	3
授業内容／形態	スペイン、または南米といったスペイン語圏のビジネスと文化について、スペイン語で行われる授業/対面		
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目）	
	単位数	2	
	担当教員	×	

【総括】

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

留学を終え、とても有意義な9ヶ月間を過ごすことができたこと改めて実感しております。現地での授業の履修、カナダの大自然、そして何より現地の人々との交流を通じて、今までの自分の価値観を大きく変えることができました。

まず、ニューファンドランドの場所についてですが、日本からは非常に遠く、乗り継ぎが2回以上であることから、日本からは行きにくい場所となっております。さらに航空券も他のカナダの大都市と比較すると非常に高く、留学するにあたって不便な点が多々ありました。しかしこの留学を終えて気づいたことは、それらの特徴が自分にとって有利に働いたことです。これらの不便な点があるからこそ、周りに日本人がいない環境で9ヶ月間、世界の様々な国から来た友人たちとの交流を楽しむことができました。また、田舎であるからこそ、素晴らしい自然が現地にはあり、その壮大な景色を楽しむことができました。

そして、メモリアル大学自体も非常に国際色豊かであり、カナダの外から来た学生がたくさん所属しています。その理由としては大学に多岐にわたる学部が存在していること、また、4年間大学で学ぶ留学生の学費が比較的安いことが挙げられます。こうした環境の中で世界の仲間と同じ授業を履修し、知見を高めあうことは日本の大学で勉強しているだけでは得られない経験だと私は考えます。

最後に、寮での生活が最も私にとって忘れられない経験となりました。同じ大学に通う、学年、年齢、国籍、性別が異なった仲間と9ヶ月間同じ寮に住み、密度の濃い交流を毎日行うことができました。そこで得た大切な仲間は留学終了後、それぞれの国に帰った後でも定期的に連絡を取り合うなど、一生物の素敵な交友関係を築くことができました。

これらの経験を通して、私は人と人との交流が、私の人生の中で最も価値のあるものだという事に気付きました。たとえ文化や年齢、考え方が異なっても、人同士の心がつながっていればそれはお互いにとって大きな力になるということを強く実感しました。もちろん、留学を通して語学力や判断力が鍛えられたことは言うまでもありません。しかしながら、それらのことは日本国内でも十分に伸ばせる能力だと私は考えています。現地での交流が語学力を飛躍的に向上させるのはもちろんですが、それに向けた活動は大学内の授業やPEセンターのCommunication Hourを通じて行えることは事実ですし、その点に関しては国内だけでも十分に向上できるということを留学後に実感致しました。しかし、様々な人々との出会い、交流は現地に行き、実際に人と会って初めて成り立つものです。その人との出会いや交流が、今回の留学で私にとって最大の喜びとなり、思い出となりました。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

今後の目標として、大きく分けて、今回の留学で得た多角的に物事を見る力をさらに養っていくこと、また、現地でできた友人との交流を継続していくことの2つを実行していきます。

1つ目に、留学中に様々な国、文化、考え方を持つ人々に会い、私は今までよりも多角的に物事を見るようになりました。今までの自分の考え方では「悪い」とされてきたことが、別の文化では良いものとみなされることがよくあること、つまり自分の価値観だけでは物事は図るべきではないことを様々な場面で考える機会がありました。その考え方をこれからも大切にしていき、これからの人生で出会う人々に対しても相手を尊重する姿勢を大切にしていきたいと考えています。また、今の状況に満足せず、これからもより多くの人との交流を積極的に計っていきます。

2つ目に、留学中にできた友だちとの交流をこれからも大切にしていき、一生物の宝になるよう、自分から動いていきます。そのためには今の英語力を向上させ、より良いコミュニケーションが取れるように国内での語学向上の機会を引き続き利用し、さらに友人との交流を通じて、自分の語学力を磨いていきます。留学を終えた今、その部分に大きな目標を設定し、自分自身を向上させていきます。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

最初は不安なことや分からないことだらけであることが当然です。準備や留学をする中で、予期せぬ事態やどうにもならないトラブルが発生することも多々あります。しかしながら、それらの不安要素は、留学後の素晴らしい体験が全て掻き消してくれます。留学中に様々な経験をするたびにトラブルが起こっても対応できる能力が自然に身につくはずで、その時は自分の状況が苦しく感じて、その感情は長い目で見れば自分にとって糧になることは間違いありません。どのようなことが起こっても今の自分の状況を楽しんで、とにかく一生懸命行動すること、それが将来の自分につながっていくことを、留学を通じて必ず理解できます。私は長年参加を希望していた留学プログラムが中止され、初の海外にして一人で2回の乗り継ぎを経て日本の真裏の僻地へ着き、交換留学中もウイルスへの感染や飛行機トラブルなど、留学準備を通して様々な困難に直面しましたが、今はそれら一つ一つの経験が誇らしく思えます。楽しいことは自分が待つものではなく、自分から掴みに行くものだと私は考えています。留学を通じて、皆さんの人生がより豊かになることを心から願っております。応援しております。